

第四十三回山形県俳句大会受賞者

阿部 月山子 選

特選 未五千歳

387 夏蝶の羽根に目玉のごとき紋 東根市 大江 洋子

蝶や蛾の仲間て羽根に目玉模様や蛇の目模様があるのは、山繭蛾と蛇の目蝶。目玉模様は、目玉風船と同じように天敵の鳥をびつくりさせて身を守ること。山繭蛾は開張十三センチで黄褐色ないし晴紫褐色で、幼虫は淡緑色、櫟、檜等の葉を食べ黄緑色で楕円形の繭を作る。織物は高級品。蛇の目蝶は開張四センチ位。前翅に二個、後翅に一個の黒色眼状紋があり夏に見られ、どちらも初めて見るとびつくりする。

416 法螺の音の池塘を揺らし山開き 鶴岡市 牧 静

月山の山開きに参列する県内外の講衆は手向の宿坊に

437 銀竜草ブナの林に光りたる 鶴岡市 齋藤 峯男

銀竜草は一葉草科の多年草で樺林など山地のやや暗く、湿り気のある腐植土の上に生える。根は大きな塊となり高さ十〜二十センチの茎が数本集つて出る。夏に茎の先端一本ずつ下向きに花をつける。葉のつき方が竜の鱗のようで、体が白いので銀竜草の名がついた植物である。樺の林の多い山形県内では多く見られる。咲き初めは大変美しく光りたるの表現が相応しい。

秀逸

78 鬼薊咲く月山の九十九折 鶴岡市 本間 まり

100 卯の花や茶箱点前の垣根越し 東根市 名和 則子

343 薫風や刀自百歳の草履編み 鶴岡市 木村 慶子

佳作

- 419 立葵乗船地跡彩れり 鶴岡市 成澤 礼子
 431 蟬に起き蟬に暮れゆく立石寺 山形市 大森 アキ
 7 夜濯ぎの片手はあやす児を抱く 酒田市 菊地 秀雄
 80 あをき喉ふくらましたる夏蛙 舟形町 中鉢 時雨
 283 慈悲心鳥神と仰ぎし杉匂ふ 東根市 大江 洋子
 287 蚊遣り香体に付けて庭手入れ 白鷹町 山口 恵子
 322 前脚のみ搔きて乗る水あめんぼう 山形市 岸 桃魚
 338 尊舟寄りては吹かれ波立ちぬ 東根市 結城トミ子
 377 目こぼしを摘めばまた現る夏蕨 山形市 横道輝久子
 389 蕉翁を偲ぶほそ道紅粉の花 山形市 齋藤 真人
 413 雲海のかなた飛鳥見はるかす 鶴岡市 栗原 愛子
 433 野馬追ひの馬脚速し炎天下 山形市 大森 アキ

鈴木正子選

特選

- 95 山百合や峡に孤高の宮大工 東根市 庄司 玲子

百合は種類によって趣も多彩であるが、この句の山百合と孤高の宮大工との取り合わせが抜群と思った。宮大工は、神社仏閣の建築をする大工であり、相当な技術の持ち主である。人柄も、一人超然とし、無口で黙々と作業をしている姿を思い浮かべる。山峡の情景を静かに客観写生されており、山百合の可憐さが宮大工を包んでいくようだ。自然と一体となつての宮大工の仕事ぶりと生き方を窺うことが出来る。格調高く本質を見極めていく作品に仕上がった。

213 摘果する未熟西瓜も縞模様 大石町 柏倉ヤス子

大抵の果実は疎抜き作業を要するもので、あの甘くて大きな西瓜も例外ではない。小粒の西瓜が花の数だけ実がなるので、そのままの小粒西瓜では商品価値がなく、収穫までは手塩をかけて大きく育てるのである。その捨ててしまう小粒の西瓜にも、縞模様が浮き出されていることに驚き、愛おしさを感じた。長年の経験からの一句で適格な表現をなしており生産者の鋭い眼目であろう。作業の行程など解りやすく親しみを感じる。最近では小

玉西瓜が好まれているらしい。

309 逢ふよりは別るる齡花木槿 山形市 折原 廣子

木槿は長い日数を咲き続け、色は紅紫色が多いが、他に白やピンクなども見かける。朝に開き夕方には萎む。

そんなことも踏まえての季語の斡旋は適宜である。そこには人の儂さも含まれている気がする。齡を重ねると共に、人との出会いも少なく、別れることが多くなつたことに気付く。その様なことも事実である。誰にも一寸先は、解らないものだからこそ、生きているうちは「一期一会」を大切にしたいものだ。感性の豊かな作者であり、温かい眼差しが行き渡っている。

秀逸

76 対岸に日射し残して白雨来る 鮭川村 小川 庭水

183 草取りや猫の額と思はれず 米沢市 小島 緑泉

217 帰省子を迎ふる不安来ぬ不安 山形市 宇井千恵子

298 託児所の午後の静けさ合歡の花 山形市 渡辺 幸則

399 通らせてもらふ畔道紅の花 山形市 伊藤 ふみ

佳作

81 かたつむりオリンピックは出ぬつもり 山形市 鈴木 式実

99 桜桃の色付く沿道聖火行く 東根市 名和 則子

120 紅花の空や円仁休み石 山形市 伊藤 ふみ

146 荒梅雨や壁に去年の水の痕 上市 石井 浩吉

265 水害の村を宥むる姫女苑 河北町 渡辺 洋子

284 築を打つ村を貫くあばれ川 東根市 大江 洋子

359 山刀伐峠の樹海の深し梅雨の闇 東根市 庄司 玲子

362 河骨の萎むで沼の水暗し 山形市 清野佐知子

429 夕立や箆に干したるもの忘れ 米沢市 高野すみれ

431 蟬に起き蟬に暮れゆく立石寺 山形市 大森 アキ

黒坂重政選

特選

253 紅花や一期一会に染まる色 山形市 伊藤 厚子

人々の暮らしに高貴な色を添え、山形県花にも指定されている紅花。七月初旬、出羽の里は黄色の花で染まり、

今にも紅花摘み唄が聞こえてきそうだ。掲句は、一句の根幹である中七に故事来歴を据えたことで、正に一生に一度、感激の紅花染めとの出会いであったろう。その昔、京と最上川舟運の歴史にある友禪染めや、口紅への使用等を彷彿とさせる。

416 法螺の音の池塘を揺らし山開き 鶴岡市 牧 静

一説、出羽三山、七月一日の月山山開きであろうか。その月山八合目は高山植物のお花畑のある浄土を言われる弥陀ヶ原である。「いろは四十八沼」と呼ばれる湿原には、多くの池塘にワタスゲの花などが稲の如く立ち、田んぼのように見えるからという。掲句は、平明で骨太な作品であり、庄内の風土に住む作者ならではの、敬虔な作句姿勢である。

431 蟬に起き蟬に暮れゆく立石寺 山形市 大森 アキ

まん延拡大一方のコロナ禍、猛暑、逆風の多かった東京五輪も夏とともに終り、旅愁を掻きたてられる蜩の声

は哀切である。掲句も平明だが、山寺一山の下、地域に暮らす人々の夏から秋への普段の生活が、鮮明に一抹の寂しさとともに伝わってくるような一句である。

秀逸

132 青梅や母亡きあとの雨しとど 酒田市 したらきようこ

205 虚空よりなだれる如し栗の花 西川町 坂坂 歩牛

298 託児所の午後の静けさ合歓の花 山形市 渡辺 幸則

319 夜蛙や茂吉の母を恋ふる歌 山市 石井 浩吉

399 通らせてもらふ畔道紅の花 山形市 伊藤 ふみ

佳作

9 少年の一步大きく夏に入る 南陽市 渡部 次代

62 番ひの蝶行きつ戻りつ桜桃忌 河北町 渡辺 洋子

87 雲海や二県を跨ぐ噴火口 東根市 菊地みさ子

92 紫陽花や兵児帯三重に余りをり 山市 石黒 正二

110 物忘れ互ひに認め泥鰌鍋 山形市 栗原ただし

141 百歳の姉息災に梅雨明るる 山市 木村比紗子

143 領きで会話成り立つ心太 山形市 庄司 芳彦

- 255 摘ましやれと奥の細道紅の花 山形市 野々村綾子
 424 七夕やねがひはみだす園児の字 山形市 小関 恵子
 449 信号を待つ間も育ち雲の峰 遊佐町 鈴木 陽子

伊藤 寛 選

特 選

- 4 音高く機影現れ梅雨空へ 東根市 青山 君代

六月に山形空港に緊急着陸したオスプレイのことを詠んだのだと思います。普段は見ることのない姿と爆音は山形県民を驚かせました。

句の内容です。音は大きいですが、機の位置は高くありません。音のするほうに顔を向けると、そこに機影がぬつと現れたということでしょうか。なんとなく不穏で重苦しい感じも伝わってきます。「梅雨空」が効いています。オスプレイは事故の多い飛行機ですね。筆者は以前から、あの異様な機体がちゃんと飛ぶのかなと心配でした。

- 223 愛車にも一つ置きたる蚊遣かな 山形市 和田 英光

選句にあたっては、「素直な句」を心がけて採りました。山形では自家用車のない暮らしは考えられません。高齢になればなるほど車のありがたさを実感するものです。作者も自分の車のことを大切な相棒のように考えているのかもしれない。

そんな作者が愛車に蚊取り線香を焚き染めました。本来、車に乗る人のために焚く蚊遣ですが、愛車そのものために焚いたようなたわりと優しさが感じとれます。キンチョウの夏。

- 332 オスプレイ発つさくらんぼ揺らしつつ

山形市 井上多桂子

俳句は写生だけで出来ているわけではありません。俳句が詩であるためには「空想力」が大事になります。この句は、実際に目にした光景ではないかもしれませんが、とても詩的な俳句です。

「オスプレイ発つ」で大きく切れて、「さくらんぼ」の

あとにも小さな（切れ）を感じて読むといいでしょう。
 「さくらんぼ 揺らしつつ」と「さくらんぼを揺らしつつ」
 では句のニュアンスが違うのがわかると思えます。
 特選の三句はどれも難しい言葉は使わずにちゃんとした俳句に仕上げてありました。

秀逸

- 242 いつまでも娘は娘藍浴衣 山形市 小野 誠一
- 318 紅の花翁の道も通学路 山市 木村比紗子
- 394 ほどほどのほどはどれほど茄子太る 山市 木村比紗子
- 399 通らせてもらふ畔道紅の花 山形市 伊藤 ふみ
- 440 レモン水白樺の風透き通る 山形市 武田 菜美

佳作

- 1 緑蔭の風に佇み充電す 東根市 阿部美和子
- 88 夕涼み姉に私に座り肝臓 東根市 菊地みさ子
- 180 枝蛙磔かはして恍惚がほ 東根市 阿部小夜子
- 215 万緑やパターゴルフの打球音 山形市 高橋 長丘
- 346 青葉よし風よし郷の情けよし 西川町 板坂 歩牛
- 393 失せし鍵冷蔵庫より出る不思議 山市 木村比紗子

- 414 奥宮の祈りのみちに蚊遣り焚く 鶴岡市 栗原 愛子
- 442 あかあかとガラス工房汗みどろ 天童市 岡田 久一
- 449 信号を待つ間も育ち雲の峰 遊佐町 鈴木 陽子
- 459 遊び場はお稻荷の庭ゆすらうめ 遊佐町 小松 恵子